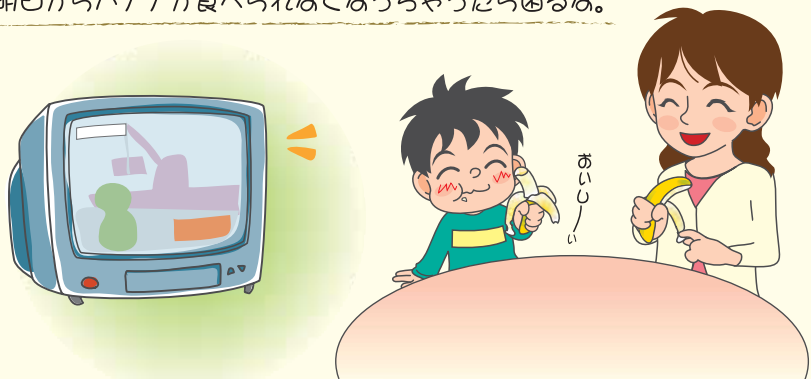


# ポストハーベスト農薬とは何か

9月23日 晴れ

僕は、バナナが大好きなんだ。だって簡単に食べられるし、おいしいんだもの。でも、今日、お母さんがテレビをみていて、変なことを言っていた。なんだか心配している様子だった。

明日からバナナが食べられなくなっちゃったら困るな。



バナナって青いまま輸入されるんだって、テレビで言ってたのよ。それって不自然よね。

でも日本じゃバナナはできないからねえ。収穫した後も農薬を使うことがあるんだってさ。



Q?

このバナナにも使われているのかしら？ いやだわ。

A!

外国では、バナナに限らず穀類や果実などでも、栽培中だけでなく、収穫後の輸送過程や貯蔵中に発生するカビや虫の被害を防ぐために使用されています。

収穫後の農作物に農薬を使用することを「ポストハーベスト」と呼んでいます。日本では貯蔵穀物の害虫を防ぐためだけに使用されていません。



栽培するときに使用するのも反対なのに、収穫後に農薬を使うなんて論外よ。毒をふりかけているようなものだわ。

残留農薬基準は、収穫後に使用した農薬も含めて、出荷されるときに農産物に残留する農薬の量に対して決められています。



用語解説

●ポストハーベスト…ポストは「後」、ハーベストは「収穫」の意味で、一般的には収穫後の農薬処理のことをいいます。外国から輸入される農産物の病害虫を防ぎ、輸送・保存時における品質保持のために行なわれます。その他、日本にはいない病害虫が入ってくるのを防ぐために行うこともあります。